

令和5年度 年度評価結果表

施設の概要等	施設名称	長浜鉄道スクエア		
	施設所管課	文化観光課		
	施設概要	<p>本施設は、かつて長浜が交通の要衝都市として発展した歴史や文化を後世に伝えるとともに、旧長浜駅舎家屋(滋賀県指定文化財)や収蔵品などを活用し、都市観光資源として観光客の誘客を図ることを目的とする。</p> <p>①旧長浜駅舎: 明治15年建築、延床面積: 439.20㎡、構造: 無筋コンクリート造2階建、棧瓦葺</p> <p>②長浜鉄道文化館: 平成12年建築、建築面積: 372.64㎡、構造: 木造2階建合金メッキ鋼板葺</p> <p>③北陸線電化記念館: 平成15年建築、建築面積382.57㎡構造: 木造2階建合金メッキ鋼板葺</p>		
	指定管理者名	公益社団法人長浜観光協会		
	指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで		
管理実施状況	管理運営業務	<p>① 長浜市歴史文化を紹介する観光施設条例第3条各号に掲げる事業の実施に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 実物、標本、模写、模型、図表、写真等の展示及び供用 二 歴史文化に関する展示及び保存資料についての説明、助言及び指導 三 資料の保管、展示に関する技術的研究 四 資料に関する説明書、目録、図録等の作成及び頒布 五 観光施設の目的に係る特別展等の開催 六 建物及びその附帯施設の公開 七 その他観光施設の設置目的を達成するために必要な事業 <p>② 管理施設(附帯設備を含む。)の維持管理に関する業務</p> <p>③ 管理施設の使用許可に関する業務</p> <p>④ 管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務</p> <p>⑤ その他市長が必要と認める業務</p>		
	自主事業の実施状況	令和5年度は大河ドラマ「どうする家康」に絡めた企画展や鉄道模型展、トレインアート展など、子どもから大人まで幅広く楽しんでもらえる企画を実施した。		
	利用状況	令和5年度実績	令和4年度実績	特記事項(増減理由等)
事業成果(令和5年度)	利用状況	入館者: 48,353人	入館者: 48,588人	令和4年度は「今こそ滋賀を旅しよう」の実施や、鉄道開業150周年・長浜駅開業140周年のメモリアルイヤーで鉄道に対する関心が高まる年だったため、入館者が増加していた
	利用者アンケートの結果			評価区分
	実施概要	回答数: 289件(紙媒体128件、デジタル161件) ※満足度は2023年6月より聞き取り開始		最多項目
	結果	家族連れの客層が約68%、初めての来館者が80%を占める。満足度に関しては、70%以上が満足、約92%が再訪を希望している結果となった。		満足度 評価
	利用者の声をふまえ、反映した事項	特になし		○ 非常に満足度が高い
収支状況	施設における収支	令和5年度実績	令和4年度実績	特記事項(増減理由等)
	収入(千円)	12,883	13,293	入館者数の減少により収入が減少、また物価高の影響などにより、支出も増加した。
	(指定管理料)	2,650	2,201	
	(利用料金収入)	9,846	9,909	
支出(千円)	17,940	16,665	満足度が低い	
その他特記事項	新型コロナウイルス感染症の流行が収束し、行動規制等も撤廃されたものの、入館者数および利用料収入が昨年度を下回る結果となった。			

	評価項目	主な評価の視点	配点	評価点
年度評価	①設置目的の達成の取組	施設の設置目的の達成、利用者サービスの向上	40	27
	②効率性の向上等の取組	経費の節減等、収入(利用者)の増加	25	16
	③適正な管理運営の取組	経理状況、管理運営費の実施状況、公共性・安全性等の確保	35	25
	合計		100	68
	年度評価及びコメント	年度評価	大河ドラマにちなんだ企画展示やイベントの実施、SNSによる周知広報活動に取り組んでいただいております。入館者の増加や利用者満足度の向上を図っていただいております。 またLED化を進めるなど、経費の削減にも努めていただきましたが、収支については赤字が常態化していることが指摘される。今後は入館者数や客単価を増加させ、安定した運営に努めていただきたい。	
		B		